

～300人を超える市民の歌声が師走の空に響く～  
**「水戸の街に響け! 300人の《第九》2019」ご取材のお願い**

“師走の水戸の風物詩”として、多くの市民に親しまれている「水戸の街に響け! 300人の《第九》」は、1999年に開始し、今年で19回目を迎えます(2000年に第2回、2003年の第3回以降は毎年開催)。

故 畑中良輔・元水戸芸術館音楽部門芸術総監督発案による本企画は、水戸市民を中心としたコーラスが主体となっており、エレクトーン2台ほかが務めるオーケストラ・パート、地元に関わりの深い歌手を中心とした独唱者とともに、水戸芸術館広場でベートーヴェンの《第九》(第4楽章のみ)を演奏し、街に元気と活力を与えよう、というものです。このような編成で、しかも屋外で開催される《第九》としては、全国でも最大規模のイベントとして、毎年各方面からご注目いただいております。

今年のコーラスも、約450名の方が参加する予定です(最年少:5歳、最年長88歳)。茨城県合唱連盟スタッフによる指導のもと、9月から4ヶ月の練習を重ねて本番にのぞみます。

大作曲家ベートーヴェンが人類の理想のあり方を希求して作曲した《第九》。市民が皆で声を合わせ、平和で希望に満ちた新年が迎えられますよう、心を込めて演奏いたします。

本公演につきまして、貴紙にてご紹介、ご取材くださいますようお願いいたします。

**水戸の街に響け! 300人の《第九》2019**

日時: 2019年12月8日[日] 1回目 12:00 開演  
2回目 13:30 開演

会場: 水戸芸術館広場 (悪天候の場合、コンサートホール ATM)  
\* 入場無料

[曲目] ベートーヴェン:

交響曲 第9番 二短調 作品125より 第4楽章

◆事前リハーサルをプレスの皆様へ公開いたします

11月30日[土] 16:00 ~ 17:00

会場: 水戸芸術館コンサートホール ATM

指揮: 打越孝裕

独唱: 結城滋子 (ソプラノ)、山本彩子 (アルト)、  
倉石真 (テノール)、清水良一 (バリトン)

エレクトーン: 小林由佳、八谷奈津美

ピアノ: 中村真由美、中村佳代 (リスト編曲による2台のピアノ版を演奏)

ティンパニ: 山地章子

合唱: 一般公募による参加者、茨城県合唱連盟、水戸市合唱連盟

主催: 公益財団法人水戸市芸術振興財団、茨城県合唱連盟、水戸市合唱連盟



昨年の公演より

\*お問い合わせ\* ご掲載・ご取材について: 水戸芸術館広報係 (担当: 鴨志田) Tel.029-227-8111  
企画について: 水戸芸術館音楽部門 (担当: 関根、鴻巣) Tel.029-227-8118  
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8 <https://www.arttowermito.or.jp/>